

社) 医学生物学電子顕微鏡技術学会

2022 (令和4) 年度 研究プロジェクト助成の公募

本学会の特色をテーマに掲げて「研究プロジェクト」を募集し、支援する事業をおこなっております。下記の通り募集いたします。

社) 医学生物学電子顕微鏡技術学会

理事長 根本 典子

技術普及委員会副委員長 田村 友樹

募集要項

募集趣旨

平成16年度に初回の「研究プロジェクト助成募集・ウランに代わる電子染色技術開発プロジェクト」を募集開始してから、今年で18年目を迎えます。

その間、時代の流れとともに、「ウラン代替え染色剤の検討」、「迅速な電子顕微鏡試料作製法」、「高分子蛋白の電子顕微鏡による可視化」、「化学固定法の見直しと四酸化オスミウムに替わる化学固定剤の検討」、「デジタル TEM のための試料作製法と観察法」などのテーマで募集を行い、成果を学術講演会ならびに学会誌で報告してまいりました。

しかしながら、近年の公募では、応募数がゼロの年度もあり、会員の皆様にとって、あまり身近でなく、興味が持てないテーマもあったかと推測します。

本学会の会員構成は、様々な分野、様々な職種・職位で幅広い領域の皆様、かつ、近年、分子遺伝学研究や様々な解析方法、研究方法があることから、電子顕微鏡を利用せずとも求める情報が得られる時代であることも事実です。このような背景で、電子顕微鏡を中核に、多岐に亘る分野の皆様が共通に興味があるテーマを設定するのは、中々難しく、今回は着眼を一新することと致しました。SDGs がニュース等で話題となっておりますが、“昨今、話題となる題材と超微形態研究との関わり”、と、本学会の活動理念の一つである“技術継承と社会貢献活動”に関する選択課題を設定しました。

選択課題4件とし、近年、ニュース等で、腸内細菌と肥満、歯周病菌と全身疾患などが話題となっておりますが (I) マイクロバイーム (微小生物の集まり) 解析との関係、また、2000年頃から「循環型社会」の維持継続と言う事で、バイオミメティクスが脚光を浴び、ヤマモリテープや省燃費型船底防汚塗料、蛇型ロボットなど、既に製品化された物も数多く、環境に優しい研究開発 (II) バイオミメティクスとの関係、更に、バイオミメティクスから進化した「ネイチャー・テクノロジー」完全形循環社会として (III) ネイチャーテクノロジーとの関係、と言う3本立、これに加え、本学会の活動理念の一つである (IV) 技術の継承と社会貢献関連に関連する研究、合計4件の選択課題を設定しました。

これらの選択課題を会員の皆様が、自由な発想で超微形態構造解析と関連づけてご研究頂き、是非とも本プロジェクトにご応募頂けますようお願いしております。

先の3件の課題は、超微形態研究からかけ離れていると感じるかもしれませんが、微生物、医動物、プランクトンなども含む、微小生物の探求も、バイオミメティクス研究も、電子顕微鏡が得意とする分野です。これらをご専門とする会員の皆様以外でも、新たに関心を寄せて頂ける可能性があると考えます。

なお、ご応募頂いた研究課題は、技術普及委員会にて審査し、成果につきまして本学会 学術講演会で発表、学会誌への投稿にて報告をお願いします。

奮ってご応募下さいますよう、お待ちしております。

募集テーマ

『近年、話題となる題材と超微形態解析を結びつける！

& 技術の啓蒙活動に供する教育指導教材作りの開発』

選択課題（以下4件から1件を選択）

I. マイクロバイオーム解析（様々な微小生物）と超微形態研究の関わり

II. バイオミメティクスと超微細形態研究との関わり

III. 循環型社会の維持貢献（ネイチャーテクノロジー）と超微形態研究の関わり

IV. 電子顕微鏡技術の継承に必要な教育教材の開発研究（対象は、専門家対象でも社会貢献対象でも何れも可。）

1. 募集件数および助成総額 : 5件以内。総額上限30万円以内。

2. 募集期間 : 2022年8月1日～11月11日（必着）

3. 助成対象期間 : 2022年8月1日～2023年3月31日。

4. 申請資格

①本学会正会員（単独、共同）、あるいは正会員と非会員（研究者、技術者）共同研究。

②正会員は、過去の本学会学術講演会で発表履歴があること。

5. 助成対象の費目

試料作製、観察等の材料費、解析に要するアプリケーションソフト購入費等が対象。

6. 助成対象者の義務

成果を本学会主催の学術講演会で発表して戴くこと。学会誌へ投稿して頂くこと。

7. 助成の決定方法と基準

①技術普及委員会において書類審査を行い候補者を選考する。

候補者を理事会へ答申し、採択者ならびに助成額を最終決定する。

②審査基準は、申請主旨にあったテーマで、規定の条件を満たすものとする。

電子顕微鏡を活用して優れた成果が見込まれるものとする。さらに独創性、学術的な意義、波及効果が高いことなどが審査の基準となります。

8. 選考結果の発表

申請代表者に対して、2022年12月下旬頃、採択者に通知する。

9. 助成金の支払方法

2023年3月末頃、採択者の銀行口座に送金する。

10. 応募要項請求および申請手続

①応募要項と申請書の入手方法

本学会ホームページより応募要項及び申請書類を入手できます。

郵便での資料送付をご希望の場合は、学会事務局までお申し出下さい。

②申請手続

申請書に必要事項をご記入の上、送付先まで郵送して下さい。出来るだけ電子メールでの申請にご協力下さい（下記申込アドレス）。

郵送の場合は、封書表に、「2022年度 研究プロジェクト助成申請書類在中」と明記下さい。

③応募締切日 2022年11月11日(金)

④ご提出いただいた申請書は返却いたしませんのでご了承下さい。

お申込み・お問い合わせ先： 応募は、できるだけ電子メール送信にご協力下さい。

〒113-0034 東京都文京区湯島 2- 31- 25 太陽ビル 4 階

電話 03-3815-4584 FAX. 03-3815-4626

医学生物学電子顕微鏡技術学会 事務局内

技術普及委員会「2022年度 研究プロジェクト募集」係

郵送の場合は、封書の表に、赤字で「研究プロジェクト応募申請書在中」と記載して下さい。

e-mail : office8@emtech.jp

11. 個人情報について、以下を承諾ください。

①個人情報については、目的以外には使用しない。

②助成先の決定は、本学会ホームページまたは学会誌学会通信欄欄に公開する。

なお、本研究プロジェクト募集事業は、日新イーエム株式会社からの研究助成支援金によるものです。

学会処理欄	
受 理 番 号	

2022年度 研究プロジェクト助成申請書

2022年 月 日

社) 医学生物学電子顕微鏡技術学会
理事長 根本 典子 殿

申請代表者 _____ 印

2022年度 研究プロジェクト助成を下記のとおり申請いたします。

記

(1) 研究テーマ (40字以内)

--

(2) 申請代表者 (申請代表者は本学会正会員。共同研究の場合、正会員1名以上含む。)

ふりがな 氏 名		会員番号	-	-
現住所 (勤務先を連絡先とする場合は、記載不要) 〒				
Tel:		Fax:		E-mail:
勤務先 所属	名称			
	所在地	Tel: 〒 Fax: E-mail:		
連絡先希望	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	特記事項		

共同研究者氏名・所属

(3) 研究経費希望額

	0	0	0	0	円
--	---	---	---	---	---

算出根拠をご記入下さい。

(4) 研究の目的、特色、成果の概要 (記載できる範囲で簡潔に記して下さい。)

(5) 申請者の主な業績と発表論文

(申請研究テーマに関係のあるもので、最近 10 年間の主要なもの 5 件以内として下さい。申請者複数が共著者である論文でなくても構いません。)